

若人集う 新成人の誓い新たに

## 平成17年度 雲南市成人式



8月14日、雲南市とってはじめての成人式が、三刀屋文化体育館アスパルで開催され、新成人597名のうち440名が参加しました。式典では、速水市長が「情熱・発想力・行動力で、未来に向かって挑戦し、それぞれの場で自信にあふれた若者になってください」とあいさつしました。続いて、新成人を代



新成人誓いのことばを述べる岡田有未さん

表して岡田有未さんが「今日からは、大人の仲間入りをしたという自覚を持ち、広い視野と謙虚な気持ちをもって、自分の責任を果たしていきたい」と誓いのことばを述べました。



にぎやかな雰囲気の中、学校給食の試食もありました

式典が終わると、地元の野菜を利用した学校給食の試食会が行われ、会場は、小学生や中学生の頃、食べて育った、懐かしい給食を味わいながら思い出話をする新成人たちのにぎやかな声があちこちで響いていました。

まちづくりについて語りましょう

## まちづくり懇談会初開催

雲南市では、ふるさとの恵みを活かした魅力あるまちづくりについて、市長が市民のみなさんと語り合う場として「まちづくり懇談会」を実施しています。

7月24日、今年度初開催となる懇談会が、掛合町波多にある満壽の湯を会場に、波多温泉運営委員会（小滝敏広会長）の主催で開かれました。

懇談会では、オープンから3年を迎えた波多温泉の経過報告に続き、「温泉施設を活かした地域づくりをどうするか」「温泉客をいかにして満足させるか」などの議題について意見交換が行われました。

まちづくり懇談会は、7月から9月にかけて実施されていますので、懇談を希望される団体は各総合センター自治振興課または、政策企画部情報政策課までお問い合わせください。



今年も快走 木次線トロッコ列車 奥出雲おろち号

## 木次線強化促進協議会・トロッコ列車活用協議会 総会

雲南市議会議場を会場に7月12日、平成17年度の木次線強化促進協議会とトロッコ列車活用協議会の総会が開催されました。

木次線強化促進協議会は、

昭和54年に木次線の存続と利用促進のため設立され、沿線市町（奥出雲町・飯南町・雲南市のほか、松江市、広島県庄原市の5市町）で構成されています。また、奥出雲町と

雲南市で組織されるトロッコ列車活用協議会は、平成10年から木次線を走るトロッコ列車を活用した沿線地域の観光振興や交流人口の拡大などを図ることを目的に、平成15年度に設立されました。

総会では、自治体やJR西日本の関係者30人が出席し、トロッコ列車「奥出雲おろち号」の運行経費の負担や遠足への利用



木次線は、トロッコ列車の集客力を活かした観光路線として、また、長い歴史あるふるさとのローカル路線として、さらなる利用促進が望まれます。

助成など継続事業について協議されたほか、雲南地域の観光スポットをトロッコ列車とバス・タクシーで結ぶツアーなども新たに計画されました。

国際感覚豊かな人材育成

## リッチモンドサマースクール事業

平成17年度雲南市青少年海外視察等派遣事業として、アメリカ・リッチモンド市に12日間の日程で滞在するリッチモンドサマースクールに、7人の中学生・高校生が参加しました。

この事業は、リッチモンド市

くさん交流してきます」とあいさつしました。団員らは、8月9日から20日までの期間中、リッチモンド市でのホームステイを通じて、異文化の理解、英語の表現力と理解力の向上を図りました。

8月5日の壮行式では、団員を代表して三刀屋高校2年の藤原由香子さんが「小さい頃から

外国に興味がありました。この機会を活かし、大いに学び、た

平成17年度 リッチモンドサマースクール派遣団員（敬称略）



写真上段左から、周藤愛(大東高校1年) 池田遥(三刀屋中学校3年) 木村紘子(大東中学校3年) 藤原由香子(三刀屋高校2年) 写真下段左から、鳥谷碧(大東中学校3年) 川島久哉(大東中学校3年) 坪内隼(加茂中学校2年)